

様式第6号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和5年 5月 29日

宮崎市長 清山 知憲 殿

申請者の住所 宮崎市大字島之内7410-1
申請者の団体名 住吉地域まちづくり推進委員会
及び代表者の氏名 会長 片平 達也
電話番号 0985-39-7004

令和4年5月27日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第19条1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

(イ) 事業実施報告書

(ロ) 収支決算書

(ハ) 事業別収支計算書

(ニ) 積立金管理状況報告書

(ホ) 繰越届出書

(ヘ) 備品管理台帳

(ト) 地域協議会の意見書(事業実施報告書に記入)

1 総括

設立14年目になった住吉地域まちづくり推進委員会も、コロナ禍にありながら新たな事業も展開し、19事業を6部会と事務局で実施した。コロナ感染症防止のために延期となった事業もあったが、全事業を中止することなく実施した。その中でも、子育てフェスタと米穂夢の収穫祭は、住吉地区総合文化祭との合同開催として実施した。また、すみよし公園内で実施した収穫祭では住吉地区伝統芸能保存会（俵踊りと奴踊り）の練習成果を初めて地域の方々に披露することができ、12月に延期した「まつり住吉2022」のステージで更に多くの皆さまにも見ていただけた。

災害時救援物資整備事業では、数点の救援資機材を購入した。それらの資機材を住吉地区総合防災訓練の場や、小学校の総合的な学習の時間の防災に関する学習で防災倉庫見学の際に使用方法などの説明会を行った。

健康づくり事業では昨年に続き、リレーマラソンを実施し昨年より多くの皆さんが参加した。

「すみよしイルミネーション2022」は電飾を増やし好評であった。

美しい里づくり事業の招魂山整備は専門業者に作業を委託し、その後自治会やPTAの皆さんの協力で手入れが進み、住吉中学校の生徒会と地域の皆さんが招魂山スタンプラリーの為の清掃活動を行った。今後も「安心安全なまちづくり」・「ずっと ずっと 住み続けたいまち 住吉」を目指していきたい。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	差	備考
地域コミュニティ活動交付金	4,454,000	4,454,000	0	
災害時積立金取り崩し	797,000	797,000	0	
繰越金	2,536,637	2,536,637		
雑収入	363	37	▲326	
合計	7,788,000	7,787,674	▲326	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	地域防災訓練事業	14年目	60,000	35,000	▲25,000	各自治会防災訓練中止
防	地域安全見守り隊事業	13年目	495,000	411,096	▲83,904	ガソリン・消耗品代節約
防	災害復旧活動支援事業	9年目	82,000	75,595	▲6,405	
防	災害時救援物資整備事業	2年目	797,000	797,000	0	
福	子育て支援事業	14年目	313,000	62,220	▲250,780	子育てフェスタ縮小
福	住吉ささえ愛事業	9年目	91,000	60,880	▲30,120	福祉まつり中止
再	すみよしイルミネーション事業	3年目	253,000	244,548	▲8,452	
福	高齢者を支える生活支援事業 NPO法人住吉つなぎ相愛との共催事業	2年目	500,000	442,379	▲57,621	ガソリン・消耗品代節約
環	美しい里づくり事業	12年目	378,000	258,932	▲119,068	草刈り機関連支出節約
環	花いっぱい事業	7年目	705,000	690,420	▲14,580	
教	米穂夢事業	6年目	278,000	158,711	▲119,289	収穫祭規模縮小
教	互いに認め合い支え合う社会づくり事業	14年目	35,000	7,475	▲27,525	チラシ代節約
伝	住吉のたからもの発掘事業	4年目	855,000	764,696	▲90,304	学校関係支出縮小
再	広報誌発行事業	14年目	511,000	524,315	13,315	他事業から予算流用残
再	住吉夏まつり事業	13年目	682,000	523,030	▲158,970	時期変更規模縮小
健	健康づくり事業	13年目	55,000	51,486	▲3,514	
福	元気で、笑顔いっぱい事業	10年目	204,000	137,800	▲66,200	健康体操回数減
再	情報発信事業	14年目	586,000	566,610	▲19,390	
他	まちづくり推進事業	12年目	908,000	711,869	▲196,131	視察研修中止
	繰越金		0	1,263,612	1,263,612	
	合計		7,788,000	7,787,674	▲326	

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	地域防災訓練事業	実施年数	14年目
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし	
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“ みんなが安心安全に暮らせるまち ”</p> <p>災害に強い安心できる住吉</p> <p>地域住民が災害に対して防災減災意識を持ち、災害に対応できるまちづくりに努めます。</p>		
目的 (期待される効果)	自然災害に対する為の防災訓練を実施する。		
事業内容・手段	<p>(1) 炊き出し訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会及び各種団体での開催支援 ・地域自主防災隊に炊き出し訓練の啓発 <p>○自治会からの訓練計画の申し出がなく実施できなかった</p> <p>(2) 南海トラフ地震が予想される中、防災意識を高める研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり推進事業の報告会と合わせて、講師を招き 「住民で考える地域の防災・減災」として講演会を実施した(1月21日) <p>(3) 住吉地区自主防災連合隊(住吉地区自治会連合会)・消防団と共催で住吉地区総合防災訓練を実施(12月10日)</p>		
事業費	35,000円		
対象者	地域住民・自主防災隊(自治会)		
参加者数 (内訳)	年度	令和4年度	令和3年度
	一般参加者	88人	67人
	スタッフ	26人	15人
	合計	114人	82人
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・住吉地区総合防災訓練は災害図上訓練D i gを実施したが、今後は各自治会での防災訓練に役立つと思う</p> <p>・初鹿野さんの講演の中で「率先避難者になろう」など突然の災害では柔軟な発想の必要性を感じた</p>		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	毎年各地の災害状況が頻繁に報道されるなかで、決して住吉も安全ではないとの認識が高くなっている	広報	事業の周知	A	B	1月に実施した防災に関する講演会には各自治会への回覧やSNSで呼びかけた
	住民の参加	A	B	住吉地区総合防災訓練は自治会長が主に参加された。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取り組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会連合会と共催事業であるが、まちづくり倉庫の資機材を披露した。今後自治会への貸出をしたい	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	今回は自治会連合会・消防団住吉分団との連携による防災訓練が実施できた。			有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 総合防災訓練を自治会連合会・消防団住吉分団と共催で実施することができた。今後はさらに地域団体や地域の皆さんが参加できる訓練を計画したい								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> 新たに取り組みされる総合防災訓練は、防災・減災に繋がるとともに、住吉地区自主防災連合隊（自治会連合会）や消防団と共催で実施することで、双方の負担軽減が図られます。訓練や研修会の開催に当たっては、住民の防災意識や「自助・互助・共助・公助」の認識を高められる実効性のある内容になるよう努めてください。 <意見への対応> 住吉地区総合防災訓練はDIGによる机上訓練を実施した。また、購入した防災機材の披露と説明を行った。防災機材や防災用品は小学生の防災教室でも現物を見せて説明した。				対応	未・済			
	<地域協議会からの意見（令和5年5月・実施報告）> 地域の防災・減災の意識向上に向け、地域団体と連携した地域防災ネットワーク作りに繋がる事を期待します。また、地域住民が参加できる体制の構築や、周知活動の充実もお願いします。 併せて、保有している資機材の操作方法や利活用方法の普及活動にも努めてください。 <意見への対応> 大災害を想定した取り組みは喫緊の課題であります。事業化にはもっと詰めが必要であり、関係団体や専門家との調整が必要です。				対応	未・済			

防犯・防災に係る事業

事業名	災害復旧活動支援事業	実施年数	9年目												
事業期間	開始：平成26年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“みんなが安心安全に暮らせるまち”</p> <p>災害に強い安心できる住吉</p> <p>地域住民が災害に対して防災減災意識を持ち、災害に対応できるまちづくりに努めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>いつ起こるかわからない災害に対して飲料水等の災害時緊急物資の備蓄を行う。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 非常物資、飲料水の計画的備蓄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年保存飲料水の購入は中止。保存期限が近いものは、各種団体に配布し使用した。 <p>現在の備蓄数 2397本(500ml)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炊き出し用ハイゼックス袋の備蓄(1,000枚/年) 現在の備蓄数4,000枚 ・保存食料、生理用品、おむつなどを購入 炊き出し用の燃料も購入。薪は製材所から廃材を提供してもらった。 														
事業費	75,595円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者			スタッフ			合計		
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者															
スタッフ															
合計															
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・突然の災害時に即役立つ食料品や衛生用品が用意されているのを初めて知った(小学校の防災倉庫見学) 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	南海トラフ巨大地震の問題や最近の各地での災害状況から非常時に備える意識は高まっている。	広報	事業の周知	A	B	広報誌住吉まちづくりだよりで周知
	住民の参加			この事業は計画的な備蓄であり、住民の参加はない。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	妥当である。地域住民のあらゆる世代に合う食料品や衛生用品などを考慮し備蓄したい。	事業の必要性	住民の満足度			B
	各種団体との連携	A	A	地域センター、消防団と備蓄品等の共有をし、必要な備蓄品の参考にした。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 飲料水がほぼ十分な備蓄量となったので、これまでにない携帯用おにぎりや衛生用品を購入し備蓄することとした。期限が迫ったものはひなたの会などで有効に利用してもらっている。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和3年5月・事業計画）> 飲料水などの非常用備蓄品については、倉庫の開錠・物資の配分方法など、具体的な人員体制・物資提供方法のシュミレーションが必要だと考えます。なお、今後も非常時に即応できるよう物資保管には十分留意してください。 <意見への対応> 非常時の物資提供のルールは作成しセンターに倉庫の鍵も渡し、物資の提供方法も全てセンターの判断にお任せしている。</p>					対応	未・済	
		<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> 備蓄品の種類や在庫数等の把握や管理に努め、有事の際に誰もが対応できるよう、ルールの作成を早急をお願いします。 <意見への対応> 備蓄品の管理は写真入りで作成した。使用のルールは作成し非常時の物資の提供は住吉地域センターに一任した。</p>					対応	未・済	

防犯・防災に係る事業

事業名	地域安全見守り隊事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“ みんなが安全安心に暮らせるまち ”</p> <p>事故や事件がない安全な住吉</p> <p>地域住民が防犯意識を持ち、子どもの見守りを通して安全安心なまちづくりに努めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>「地域の子どもは地域で守り育てる」ことを基本とし、登下校時の安全を確保するとともに地域の安全で安心なまちづくりを目指す。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 子ども見守り隊研修会並びに情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青パト隊(6月20日)、子ども見守り隊(6月29日)と講習会を分けて開催した。 <p>(2) 子ども見守り活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青パト隊は夏休み期間中も巡回できた。 ・登下校の見守り活動も連日実施していただいた。 ・見守りボランティアの募集では自治会会長など数名の参加を得た。 <p>(3) 住吉南小児童と5月23日図書室及び教室とのリモート対面式で実施した。</p> <p>(4) 通学路の点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青パト巡回時に点検を実施 <p>(5) 青パト関係者や見守り隊員の保険加入を実施した</p>														
事業費	411,096円														
対象者	地域住民、小中高生														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>2,370人</td> <td>430人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>295人</td> <td>310人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,665人</td> <td>740人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	2,370人	430人	スタッフ	295人	310人	合計	2,665人	740人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	2,370人	430人													
スタッフ	295人	310人													
合計	2,665人	740人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・両小学校の児童が青パト巡回時に大きい声で挨拶してくれる(青パト隊員) ・中高生も最近は声を出して挨拶してくれる(見守り隊) ・ルールを守り挨拶の出来る児童、生徒が多い(青パト隊員) 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	子ども達の登下校時を安心安全に見守るために必要	広報	事業の周知	A	A	「まちづくりだより」やチラシ及びまちづくりの公式SNSのQRコードを印刷したカード裏面にも
	住民の参加	A	B	高齢化のため辞めていく人も出てきているが、今年度は自治会への呼びかけで数名参加が得られた			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	「地域の子どもは地域で守る」を基本に数多くの人で各団体と協力して取り組む事業は妥当である。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	青パト隊員募集については自治会連合会、PTAへのお願いしている			事業継続の必要性	有・無	
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 今年度は青パトの講習会と見守り隊の講習会を分けて実施した。それぞれの見守り状況や危険個所などの情報が得られて良かった。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見(令和 年 月・事業計画)></p> <p><意見への対応></p>							対応	未・済
	<p><地域協議会からの意見(令和4年3月・事業計画)> 協力者の負担軽減のためにも自治会連合会やPTAだけでなく関係団体に広く働きかけ、ボランティアの確保に努めてください <意見への対応> 広報誌やチラシを出す際にボランティア募集を掲載し自治会連合会の定例会でも協力を依頼した。PTAのボランティアの方々の把握も順次行っていきたい。</p>							対応	未・済

防犯・防災に係る事業

事業名	災害時救援物資整備事業	実施年数	2年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：令和5年													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“みんなが安心安全に暮らせるまち”</p> <p>災害に強い安心できる住吉</p> <p>地域住民が災害に対して防災減災意識を持ち、災害に対応できるまちづくりに努めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地震や台風などの大規模自然災害発生時に“命をまもる”ために必要な資材を配備するとともに避難所での生活に緊急に必要な物資を揃えて災害に備える。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 人命救助を目的とした最低限の資材の配備。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域消防団や防災士などの意見を聞いて配備した。 <p>(2) 避難所生活で必要となる緊急物資の整備。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域センターと連携して物資の整備を実施した。 <p>(3) 高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児などへ配慮した物資の検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ幅広い年齢層に合わせた資機材を配備した。 <p>(4) 自治会連合会にはまちづくりの資機材などの貸出や訓練時の配布は周知している</p> <p>(5) 物資の保管場所は住吉地域まちづくり推進委員会の防災倉庫を基本として維持管理するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年計画の事業で初年度に続き資機材の購入を行った。 														
事業費	797,000円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者			スタッフ			合計		
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者															
スタッフ															
合計															
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	災害に対する意識は高まっている。食料、資材等計画的に整備している。	広報	事業の周知	A	A	まちづくりだより等で周知を行っている。
	住民の参加	B	B	広く住民に周知する手段を検討したい			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域のまちづくりの中核としての存在から妥当である。	事業の必要性	住民の満足度			B
	各種団体との連携	A	A	地域内の各種団体や地域センター、防災士と連携を更に深めていく。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 積立金を取り崩して購入する機材は2年目に入った。選定には地域センターをはじめ消防局、地域消防団、防災士等の意見を聞いて昨年より充実した配備となった。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> 有事の際に、整備した物資を速やかに活用できるよう、関係者で使用方法等の訓練に努めてください。 <意見への対応> 写真で在庫状況を把握できるように工夫した。総合防災訓練時に整備品の披露と使用説明を行った。 令和4年9月の台風では自主避難所で購入物資を活用できた。</p>				対応	未	済	
		<p><地域協議会からの意見（令和3年11月・事業計画）> 計画に沿って実施してください。なお、災害が発生した際に、購入した資材をスムーズに使用できるよう、資材使用に関するルールを早急に策定してください。併せて、資材の使用方法に関する研修や防災訓練を実施してください。 <意見への対応> 備蓄品放出のルールは作成済。資材使用方法については部会や防災訓練時に説明した。今後も機会あるごとに周知の努力をしていく。</p>				対応	未	済	

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	子育て支援事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“みんなが元気でお互いを支え合うまち”</p> <p>◎女性や若者が生き活きと活動する住吉 地域住民みんなで安心して子育てができる環境づくりに努めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>住吉における安心子育ての環境づくりを目指し、未就学児親子の支援とともに、幅広い世代の交流を通じて地域の子ども達を育む。</p>														
事業内容・手段	<p>「すみよし子育てフェスタ2022」</p> <p>○8月に予定をしていた子育てフェスタは新型コロナ感染拡大のため延期とした。</p> <p>新たに11月12日(土)住吉地区総合文化祭と共催で、住吉公民館で乳幼児や小学生を対象とした「すみよし子育てフェスタ2022」を実施した。</p> <p>赤ちゃんハイハイ競争、小学生向け競争など実施した。</p>														
事業費	62,220円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>120名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>10名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>130名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	120名		スタッフ	10名		合計	130名	
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	120名														
スタッフ	10名														
合計	130名														
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・今回は住吉地区総合文化祭と共催となったが、幼児や小学生の参加は多く盛況だった</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		3年ぶりの実施で開催となり、ニーズは高まっていた。	広報	事業の周知	A		自治会への班回覧 PTAへの呼びかけ 総合文化祭チラシ
	住民の参加	A		住吉地区総合文化祭との共催で参加者は多かった。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		妥当性あり。	住民の満足度				A
	各種団体との連携	A		PTAや自治会などとの連携ができた。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 今年度は新型コロナ感染拡大のため延期し、住吉地区総合文化祭と共催で開催した。 単独開催に比べ、今回は会場が狭かった。</p>							
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> 子育て世代に喜ばれている事業ですので、多くの住民が参加できる事業として再開されることを期待しています。 <意見への対応> コロナの影響で2年間事業が実施できなかった。令和4年度もコロナの影響で8月予定の事業は実施できなかったが11月の住吉総合文化祭と共催で内容は少し縮小して実施することができた。</p>				対応	未・済			
	<p><地域協議会からの意見（令和3年5月・事業計画）> 幅広い世代の交流を図る中で、安心した子育てが出来るよう創意工夫し、事業推進に努めてください。 <意見への対応> コロナの影響で8月予定の事業は実施できなかったが11月の住吉総合文化祭と共催で実施することができた。</p>				対応	未・済			

地域福祉に係る事業

事業名	住吉ささえ愛事業	実施年数	9年目												
事業期間	開始：平成26年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“ みんなが元気でお互いを支え合うまち ”</p> <p>子どもや高齢者を大切にする住吉</p> <p>高齢者が安心して暮らせるまちづくりに努めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>高齢者等が日々安心して暮らせるよう、地域で支え合い、絆を深めていくことを目的とする。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 認知症に対する正しい理解や知識を深めるための「認知症サポーター養成講座」は南部公民館(11月9日)1回のみであった。</p> <p>(2) 高齢者対象のスマホ操作教室は初めての試みであったが、キャンセル待ちが出るほど好評であった。(10月22日)</p> <p>(3) 福祉まつりはコロナ禍で実施できなかった。</p>														
事業費	60,880円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>63名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>11名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>74名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>参加者数は「スマホ教室」「認知症サポーター養成講座」の人数。</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	63名		スタッフ	11名		合計	74名	
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	63名														
スタッフ	11名														
合計	74名														
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・「スマホ教室」は大変役立った、1回だけではなく次回も開催して欲しい。</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニ ーズの把握	A		デジタル難民とされる高齢者にとって「スマホ教室」は待ち望んでいたイベントであった。	広報	事業の周知	A		自治会連合会班回覧及びインスタ、公式LINE等で周知
	住民の参加	A		スマホ教室についてはさらに参加者が増える可能性がある。			事業の効果	課題解決への作用	C
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		高齢者が待ち望んだ講座であり充分妥当性がある。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	B		自治会回覧文書で周知依頼した。結果、自治会員の方々からの申し込みが多かった			有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 初めての試みで開催した「高齢者向けのスマホ教室」、参加者の満足度は高く、さらにバージョンアップした講座を検討したい。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> 「わが家のカード」の活用に関する啓発及びスマホ操作教室の周知にも取り組んでください。 <意見への対応> 「我が家のカード」は3年がかりで作成したもので、有効な利用を自治会連合会定例会でも呼び掛けている。スマホ操作教室は希望者が多くキャンセル待ちの状態であった。				対応	未・済			
	<地域協議会からの意見（令和3年5月・事業計画）> 高齢化が進む中、地域で高齢者を支える取組の重要性が増してきているため、「認知症サポーター養成講座」については、計画的に実施し、取り組みを広げてください。「我が家のカード」作成については、計画最終年のため、作成以後の活用に関する啓発も踏まえて取り組んでください。 <意見への対応> 認知症サポーター講座は希望団体が少ないので令和5年度からは中止する。「我が家のカード」は自治会を通じて配布し、自治会長あてに有効利用を呼びかける内容の文書を添付した。また自治会連合会定例会でも利用を呼び掛けた。				対応	未・済			

地域再生に係る事業

事業名	すみよしイルミネーション事業	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 “みんなが元気でお互いを支え合うまち”														
目的 (期待される効果)	地域の結びつきや交流を深め、やさしさや思いやりの心を育む														
事業内容・手段	<p>「すみよしイルミネーション2022」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場 住吉公民館 ・開催期間 令和4年12月3日～令和5年1月27日 <p>○昨年度よりさらに電飾を増やし、点灯式を12月3日の「まつり住吉2022」にて盛大に実施した。 また、電飾の設置や撤去作業はPTAの皆さんの協力を得た。</p>														
事業費	244,548円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>14人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>23人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37人</td> <td>59人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	14人	28人	スタッフ	23人	31人	合計	37人	59人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	14人	28人													
スタッフ	23人	31人													
合計	37人	59人													
住民の声(アンケートの結果等)	今年はいルミネーションの点灯式を12月3日のまつり住吉に合わせて、カウントダウンで点灯式を実施したので大いに盛り上がった。														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域二 ーズの把 握	A	A	「地域住民の気 持ちを明るく前 向きにする」目標 は住民の気持ちを 良く捉えている。	広報	事業の 周知	A	A	まつりチラシやポ スター、自治会の班 に回覧、インスタ等 で周知	
	住民の 参加	A	A	特に点灯式をま つりに合わせた ことで、多くの住 民に披露するこ とができた。			事業の 効果	課題解 決への作 用	A	A
効果的・ 効率的な 取組み	地域ま ちづくり 推進委員 会の取組 としての 妥当性	A	A	地域の方々に毎 年のイベントと して認知が高ま っている、妥当性 はある		住民の 満足度			A	A
	各種団 体との連 携	A	A	設置作業では住 吉三校のPTA 役員の方々の応 援をいただいて いる			事業継続の必要性		有・無	
良かった点・ 改善点等		<良かった点や改善した点等> さらに電飾を増やしたイルミネーションを住吉まつりのなかで点灯式を実施した。 多くの地域住民からも好評を得ている。								
地域協議会から の意見への対応		<地域協議会からの意見(令和 年 月・)>								
		<意見への対応>							対応	未・済
地域協議会から の意見への対応		<地域協議会からの意見(令和4年3月・事業計画)> 地域住民の心が安らぐ事業になっています。アンケート等 で地域住民の声を反映することができれば、更に住民に喜 ばれ、地域を活気づけられる事業になると思います。 <意見への対応> 令和3年度より電飾範囲を拡大します。住吉公園や地域セ ンター・公民館周辺が賑わい、楽しいひと時を過ごして もらえるエリアになるよう事業を進めたい。 認知症サポーター講座は希望団体が少ないので令和5年度から は中止する。「我が家のカード」は自治会を通じて配布し、 自治会長あてに有効利用を呼びかける内容の文書を添付 した。また自治会連合会定例会でも利用を呼び掛けた。							対応	未・済

地域教育に係る事業

事業名	高齢者等を支える生活支援事業 NPO 法人 住吉つなぎ相愛 との共催事業		実施年数	2年目
事業期間	開始：令和3年度		終了：	
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“ みんなが地域の宝を大切に守り育てるまち ”</p> <p>子供や高齢者等を大切に作る住吉</p> <p>高齢者が安心して暮らせる支援体制充実しよう</p>			
目的 (期待される効果)	<p>住民同士が「お互いさま」の心で支え合い、日常生活の支援を行うと共に子供を含む若い世代も健やかに育っているよう、関係機関と連携し安心して暮らせるあたたかい地域づくりを目指す。</p>			
事業内容・手段	<p>高齢者等の支援を住吉ボランティアセンター「つなぎ」と共催事業として行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり推進委員会と「つなぎ」で月例会を実施した。 <p>つなぎ事務所にて依頼を受付、訪問調査を行い支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し相手 1件 ・部屋掃除 63件 ・庭掃除 60件 ・除草剤散布 26件 ・送迎時補助 件 ・買い物代行 102件 ・付き添い 7件 ・ゴミ出し 66件 ・墓掃除代行 8件 ・その他 6件 合計 339件 訪問調査 30件 <p>つなぎコール...安否確認・孤立に繋がらないように対象者へつなぎ事務所から電話をかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週水・木曜日、対象者 3名 延べ 60名へ実施 			
事業費	442,379円			
対象者	地域住民			
参加者数 (内訳)	年度	令和4年度	令和3年度	
	一般参加者			
	スタッフ	556人	879人	
	合計	人	879人	
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼者の立場に寄り添って対応して頂き、感謝しています。 ・ボランティアの方々に高齢者が多いので、若い人の応援が必要ではないでしょうか。 ・お願いする方にとって助かりますが、料金が安すぎます。この事業は続けて頂きたい。そのためにも持続可能な料金設定を考えられたらいいかですか。 			

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	高齢者や共働き家庭の増加でニーズは高い	広報	事業の周知	A	B	「つなぎ」は独自でパンフレットを作成。まちづくりだよりやインスタ、ブログにも随時掲載
	住民の参加	B	B	この事業への認知度は低く、一般の住民参加はない			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	共催事業として実施しているが、地域住民のニーズにこたえるためにも妥当	事業の効果	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	B	広報活動と協力依頼を含めて連携を含め深めていかなければならない。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 連携事業によりまちづくり推進会の事業の幅が膨らんだ。「つなぎ」の方もまちづくり推進委員会の事業として広報してもらいたい。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見(令和 年 月・)></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済
		<p><地域協議会からの意見(令和4年3月・事業計画)> 地域にとって高齢者等の生活支援は重要課題であり、なくてはならない事業です。生活支援の活動が広く周知できるよう努めるとともに、「住吉つなぎ相愛」との連携のもと、充実した生活支援活動となるよう努めてください。</p> <p><意見への対応> 在宅での安心した暮らしを続けられるよう、まちづくり推進委員会、つなぎと連携し、地区社協や民生委員、自治会、また包括支援センターなど地域全体で見守るネットワークの構築を図っている。また、依頼内容も複雑になっている為、毎月の定例会で検討を行い、その人に寄り添った支援活動に繋げている。</p>						対応	未・済

[3] 環境に係る事業

事業名	美しい里づくり事業	実施年数	1 2 年目(令和2・3年度休止)
事業期間	開始：平成21年度	終了：	なし
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 “ みんなが四季を楽しめる心豊かなまち ” 心に残る風景に満ちた住吉 地域住民が四季を楽しめる自然豊かな里山づくりを進める。		
目的 (期待される効果)	地域の豊かな自然環境を守り、美しい里山づくりを目指す		
事業内容・手段	<ol style="list-style-type: none"> 1．招魂山に東側と北側から登れるよう専門業者に依頼して整備する。 2．その後の維持はボランティアを募って草刈り作業を行う。自治会連合会やPTAの協力もお願いする。 3．小学校に呼び掛けて児童が登る機会を増やしてもらう。 4．自然を生かした取り組みを計画する。 		
事業費	258,932 円		
対象者	地域住民、小学生、中学生		
創意工夫・改善点等	<p>< 創意工夫点、昨年度から改善した点等 ></p> <p>平成21年度から11年間続けてきた事業を、ボランティアの方々の高齢化や安全面の事情から令和2・3年度は休止した。令和2年度後半から事業の再開を望む声上がり、役員会で検討したが結論が出なかった。役員有志で何度も招魂山に登り、頂上からの景観の良さ、手軽に安全に登れる里山としての理解を得るよう努力した。住吉小学校の校長先生にも登っていただき頂上からの素晴らしい景色に感嘆されたのも事業再開のきっかけになった。</p> <p>< 前年度C評価の評価項目への対応 対象項目 () ></p>		
地域協議会からの意見への対応	<p>< 地域協議会からの意見(令和4年3月・事業計画) ></p> <p>招魂山は、宮崎県が「土砂災害特別警戒区域」に指定しています。事業実施に際しては、住民の安全面に配慮するとともに宮崎県宮崎土木事務所への「報告、連絡、相談」を徹底し、必ず記録として残すよう心掛けてください。</p> <p>< 意見への対応 ></p> <p>この事業を再検討するにあたって令和3年10月26日に宮崎土木事務所への問い合わせに対して「警戒区域であるが大木を切り倒したりしなければ、通行に邪魔になる樹木などは払いのけても良い」旨の返事ももらっている。「もし、大木を切り倒さなければならぬときは連絡してください」と言われた。</p>	対応	未・済
	<p>< 地域協議会からの意見(年 月・事業計画) ></p> <p>< 意見への対応 ></p>	対応	未・済

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		小学校や中学校で招魂山を認知されるようになり、子供たちが興味を示してくれるようになった	広報	事業の周知	A		インスタやブログで周知。
	住民の参加	B		地域の方々も整備に参加していただいている。			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取り組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		地区住民には大変好評であり妥当な取組みである。		住民の満足度			A
	各種団体との連携	A		近隣自治会、PTA、中学校の生徒などと連携			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 今年度は専門業者により招魂山を整備をしてもらい、その後自治会やPTAや住吉中学校の生徒による草刈作業により、頂上まで数回登り住吉の景観を見ることができるようになった。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> 招魂山は、宮崎県が「土砂災害特別警戒区域」に指定しています。事業実施に際しては、住民の安全面に配慮するとともに宮崎県宮崎土木事務所への「報告、連絡、相談」を徹底し、必ず記録として残すよう心掛けてください。 <意見への対応> この事業を再検討するにあたって令和3年10月26日に宮崎土木事務所への問い合わせに対して「警戒区域であるが大木を切り倒したりしなければ、通行に邪魔になる樹木などは払いのけても良い」旨の返事をもらっている。「もし、大木を切り倒さなければならないときは連絡してください」と言われた。</p>							対応	未・済
	<p><地域協議会からの意見（令和3年5月・事業計画）> <意見への対応></p>							対応	未・済

[3] 環境に係る事業

事業名	花いっぱい事業	実施年数	7年目
事業期間	開始：平成28年度	終了：なし	
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“ みんなが四季を楽しめる心豊かなまち ”</p> <p>花と緑にあふれる住吉</p> <p>地域住民や子供達が心豊かに生活できるよう花のあふれる緑豊かなまちづくりを推進しよう。</p>		
目的 (期待される効果)	<p>住民が集う広場や通学路を花いっぱいにして美しいまちづくりを目指すことを目的とする。</p>		
事業内容・手段	<p>(1) 花いっぱい運動</p> <ul style="list-style-type: none"> コスモスの種まきは住吉南小(1・2年生)のみ実施できた。今年度は少人数ではあったがまちづくりメンバーも一緒に実施した。他は主に土地改良区の協力で種まきまでの一連の作業は実施した。 トラクター整地とコスモスの種まき <ul style="list-style-type: none"> 西島之内水土里会 8月27日 新名爪新里会 8月28日 元村せせらぎ会 8月30日 住吉南小学校 9月10日 花のまちづくり会員によるすみよし公園の花の植栽 ボランティアの方を含めて18名の会員を4グループに分け、除草・花がら摘み・水かけを行っている 		
事業費	690,420円		
対象者	地域住民、小学校児童		
参加者数 (内訳)	年度	令和4年度	令和3年度
	一般参加者	291人	120人
	スタッフ	72人	310人
	合計	373人	430人
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> 住吉公園に来るたびに、花壇の花に心が癒されます。またボランティアの方が花がら摘み等をされて花壇を整備されており感謝します。(住吉公園利用者) 通学の時にきれいな花が植えてあり楽しい(小学生) 		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	稲の収穫後の田んぼを賑わすコスモス畑は毎年地域住民の話題となっている	広報	事業の周知	A	A	種まきの周知はインスタやブログで周知。開花時には「花いっぱい事業」の看板を立てている
	住民の参加	B	A	米穂夢のコスモスは時期が遅いため実施できなかった。住吉南小は種まきに参加した。			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地区住民には大変好評であり妥当な取り組みである。		住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	土地改良区や小学校、花のまちづくり推進協議会と連携。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 今年度は元村地区、新名爪地区、西島之内地区とも土地改良区等の方々の応援で、全てのコスモス畑は、ほぼ満開となり地域の皆さんに大変好評であった。米穂夢の稲刈り時期が遅いため、今年度もコスモスの種まきは断念した。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> 毎年、綺麗なコスモスを楽しめることに感謝しています。 <意見への対応> 関係者にはその年の天候に合わせてトラクターでの整地やコスモスの種まき時期を工夫したり、種を蒔きやすいように種と土を混ぜたり、小学生の種まきには一人分ずつ袋に入れるなど多忙な時期に準備していただいている。令和4年度のコスモスは天候にも恵まれ素晴らしい開花を楽しむことができた。</p>				対応	未・済		
		<p><地域協議会からの意見（令和3年5月・事業計画）> 小学校との連携のみならず、地域住民も幅広い世代で参加できるよう工夫してください。 <意見への対応> コロナ感染症防止のため行事計画を広く呼び掛けることが出来なかった。</p>				対応	未・済		

地域教育に係る事業

事業名	米穂夢事業	実施年数	6年目												
事業期間	開始：平成29年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標 “みんなが地域の宝を大切に守り育てるまち” ◎地域の産業や食文化を大切にする住吉 食育を通して子どもたちの豊かな食文化への関心を育てるように進めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>米作りを通して、「いのち」につながることを学び、人と人の絆や多くの実践活動を体験することで、「いのちをまもる・ふるさとをまもる・地域をまもる」ことへとつなぎ、地域の大きな輪の中で子どもたちを育み福祉へつなぐ。</p>														
事業内容・手段	<p>今年度はコロナ感染状況をみながら、かかし作りや稲刈りなど子供たちも参加してもらえた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○稲の種まき 令和4年5月20日(金) ○田植え 令和4年6月15日(水) ○案山子作り 令和4年7月23日(土) ○案山子立て 令和4年8月20日(土) ○稲刈り 令和4年10月8日(土) ○収穫祭 令和4年11月12日(土) ○住吉地区社会福祉協議会とひなたの会(子ども食堂)へ米を贈呈 令和4年10月26日(水) 														
事業費	158,711円														
対象者	地域住民・小中学生・幼稚園児・保育園児														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>284人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>156人</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>440人</td> <td>49人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4度	令和3年度	一般参加者	284人	人	スタッフ	156人	49人	合 計	440人	49人
年 度	令和4度	令和3年度													
一般参加者	284人	人													
スタッフ	156人	49人													
合 計	440人	49人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>今年度は、収穫祭を住吉地区総合文化祭の中で実施した。神事後、住吉地区伝統芸能保存会の披露の後、見学された地域の皆さんに新米を配布した。大変好評で数が不足した。</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	収穫した新米を一人暮らしの高齢者等に配布し大変喜ばれている。	広報	事業の周知	A		学校、幼稚園、保育園などに案内文書発送。
	住民の参加	A		今年度は案山子作り、稲刈りに幼児や小学生、保護者の参加を得られた			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取り組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	取り組みは妥当である。	事業の効果	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A		新米の配布については、社会福祉協議会と連携			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 今年度は、コロナ感染状況をみながら、少人数ではあったが幼児や小学生と一緒にかけし作りや稲刈りを実施することができた。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> 学校や各種団体との十分な連携に努めながら、広く地域住民が参加できるよう配慮してください。 <意見への対応> 令和4年度は案山子作りと収穫祭は何とか実施できた。地域住民の参加呼びかけは学校やPTA、自治会などにも協力をお願いしていきたい</p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（令和5年5月・実施報告）> 食育事業として食文化を考察できる事業内容となっています。子ども達が稲作過程を体験できるなど、事業内容の更なる充実をお願いします。 <意見への対応> 学校でも米作りを体験しているが、田植えから収穫、そして収穫を喜び感謝し、福祉につなぐ一連の取り組みは伝統を大切につないでいく教育的な価値があります。</p>						対応	未・済	

[4] 地域教育に係る事業

事業名	互いに認め合い支え合う社会づくり事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“ みんなが元気でお互いを支え合うまち ”</p> <p>女性や若者が生き生きと活動する住吉</p> <p>地域住民がお互いに認め合い思いやりに満ちているまちづくりに努めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>誰もが互いに尊重し合い、日常生活において、個性や能力が発揮できる男女共同参画の意識を地域住民に広める。</p>														
事業内容・手段	<p>○男女共同参画に関する学習会の開催</p> <p>住吉地区3校合同の学習会には参加せず、部会独自の講演会を開催した</p> <p>開催日：令和4年9月22日(木)</p> <p>演 題：「コロナ禍において心を寄せて欲しいこと」</p>														
事業費	7,475円														
対象者	地域住民、住吉3校PTA														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>23名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>31名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	23名		スタッフ	8名		合 計	31名			
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	23名														
スタッフ	8名														
合 計	31名														
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B		まだコロナ禍の影響もあり三校合同の講演より以前に独自の講演会を実施した、一般の住民のニーズは低い	広報	事業の周知	B		自治会への回覧文書での周知 インスタ、ブログ
	住民の参加	B		自治会回覧で募集したが一般の参加者は少なかった			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	C		まだまだ認知が低いこともあり妥当性はみつからない	事業の必要性	住民の満足度			C
	各種団体との連携	B		三校PTA			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 今年度もコロナ禍にあり、三校合同の講演会には参加することができなかつた為、地域再生活動部会独自で講演会を企画実施したがまちづくり単独では集客が困難である。講演会について今後は三校PTAとの共催で開催したい。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> 3校PTAに限らず、各種団体と連携し、多くの地域住民が参加できるような学習会を計画してください。 <意見への対応> 3校PTAの参加者は多いが地域住民の参加が少ない傾向がある。各自治会には班回覧のチラシで案内し、自治会連合会を通じて協力を依頼したい。</p>				対応	未・済			
	<p><地域協議会からの意見（令和3年5月・事業計画）> 男女共同参画の意識が広まるような学習内容にして実施してください。併せて、広く地域住民が参加できる学習会になるよう努めてください。 <意見への対応> 新型コロナウイルス感染症防止のため実施できなかった。</p>				対応	未・済			

伝統文化に係る事業

事業名	住吉のたからもの発掘事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：平成31年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 “みんなが地域の宝を大切に守り育てるまち” 地域の歴史や文化財を守り育てる住吉 地域の伝統芸能を通して住民同士の交流が盛んになるように努めます。														
目的 (期待される効果)	小中学生が住吉の歴史や文化財、地域団体の活動について学習し、地域住民との交流を通じて住吉の良さを認識してもらう。伝統芸能保存会の活動を通じて日平俵踊り・麓奴踊りを復活させる。														
事業内容・手段	<p>< 1 > 住吉小学校 1年生のむかしの遊びを楽しもうでは、地域の方も参加して一緒に昔の遊びを体験した 3年生の総合学習の時間「住吉地区の元気の秘密を探ろう」ではゲストティチャーとして体育館での全体説明、各クラスでの説明、発表会と参加した</p> <p>< 2 > 住吉南小学校 3年生の総合学習の時間、住吉の未来プロジェクトでは2月14日(火)発表会に参加した。 5年生の日平俵おどり復活プロジェクトメンバーの生徒が伝統芸能保存会・日平俵踊りの練習日や発表会などにも参加している 6年生蓮ヶ池横穴群の日本遺産PRプロジェクトチームの横穴群案内番号プレート作成設置を支援した(12月19日)</p> <p>< 3 > 住吉中学校 「住吉を語ろう 住中2022」を発足。「出店」「招魂山スタンプラリー」「防災について」3つのグループに分れた取り組みに協力した。</p> <p>< 4 > 住吉地区伝統芸能保存会 住吉地区伝統芸能保存の日平俵踊り・麓奴踊りの皆さんが、米穂夢収穫祭とまつり住吉での披露に向け、毎月練習を重ねてきた。 俵踊りは文化財課の民俗芸能伝承事業の助成を申請した。</p>														
事業費	764,696円														
対象者	地域住民、小中学生														
参加者数(内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1,061人</td> <td>939人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>128人</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,189人</td> <td>1,010人</td> </tr> </tbody> </table> <p>一般参加者は小中学校の児童生徒数、スタッフは伝統芸能保存会踊りの延べ人数を含む</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	1,061人	939人	スタッフ	128人	71人	合計	1,189人	1,010人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	1,061人	939人													
スタッフ	128人	71人													
合計	1,189人	1,010人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫祭で初めて住吉地区の伝統芸能の俵踊りと奴踊りを見た。住吉にこんな伝統芸能があることを初めて知った。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	念願の住吉地区伝統芸能、俵踊りと奴踊りを復活させて披露できて	広報	事業の周知	A	B	今年度は、インスタやブログまたまつりのポスターや総合文化祭のポスター等で周知できた
	住民の参加	A	B	米穂夢の収穫祭や住吉まつりで多くの住民の皆様にご披露できた			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	目標・目的に合致した取り組みである。妥当である	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	横穴群PRについては市の文化財課と連携している。			有・無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> コロナ感染状況もやや収束に向かい、伝統芸能保存会の皆さんは収穫祭やまつりでの披露に向け、活発に練習に励まれ士気も高まった。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> 住吉のたからもの（郷土芸能・文化財）を広く住民に周知するという事業の「目的」と「内容」の整合性を図ってください。 <意見への対応> 児童・生徒が総合的な学習の時間の活動を通じて地域の特徴を知り、愛着を持ち、郷土の芸能や文化財に関心を持って欲しい。学校との連携を強め、まちづくりの事業への協力もお願いしていきたい。</p>							対応	未・済
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>							対応	未・済

[5] 地域再生に係る事業

事業名	広報誌発行事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“ みんなが元気でお互いを支え合うまち ”</p> <p>地域の結びつきや交流を大切にする住吉</p> <p>地域住民がまちづくりのイベントや事業内容を知り気軽に楽しく参加できるように進めます。</p>														
目的 (期待される効果)	住吉地域まちづくり推進委員会の事業や地域の活動状況等を発信し、地域住民への周知を図る。														
事業内容・手段	<p>(1) 広報誌の発行</p> <p>新型コロナの影響で定期発行分を変更した。</p> <p>定期発行 6月分(10ページ)発行</p> <p>3月分(16ページ)発行</p> <p>発行部数 5,500部</p> <p>各自治会に全戸配布、また銀行、郵便局、スーパーなどにも置いた</p> <p>(2) ブログの更新</p> <p>各部会の事業報告を受けて、その都度ブログに掲載。</p>														
事業費	524,315 円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>46人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>46人</td> <td>100人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者			スタッフ	46人	100人	合 計	46人	100人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者															
スタッフ	46人	100人													
合 計	46人	100人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業の紹介に写真が多いので分かり易い ・ホームページだけでなくインスタグラムでもまちづくりの事業を知ることができる。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	まちづくりの活動内容・各種団体の情報を掲載し、ニーズの把握に努めている。	広報	事業の周知	A	A	自治会には全戸配布している。 また、住吉の小中学校の教員及び総合学習の教材としても児童に配布した。 銀行、スーパー等にも置かせてもらった
	住民の参加	A	A	自治会や各種団体等に情報提供を依頼している。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	広報活動は事業の紹介や結果報告になくてはならない活動であり、妥当である。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	今年度は公民館・消防団・河川浄化などの活動を合わせて発行した。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 新型コロナウイルス感染症防止のため事業の多くは実施できなかったため、広報活動もあまりできなかった。自己評価の特記事項は昨年度の分を再掲した部分もある。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> 合同誌として、各種団体と連携・調整を図り、地域住民が分かりやすく親しみやすい誌面になるよう工夫しながら発行してください。 <意見への対応> 各種団体の発行時期と調整したうえで合同誌を作成したい。誌面は画像を多く取入れ親しみやすく分かり易くする。</p>					対応	未・済	
		<p><地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）> <意見への対応></p>					対応	未・済	

地域再生に係る事業

事業名	住吉夏まつり事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“ みんなが地域の宝を大切に守り育てるまち ”</p> <p>地域の結びつきや交流を大切にする住吉</p> <p>地域住民がともに支え合いふれあいを通じた交流が盛んになるように努めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域住民の親睦・交流を深めるとともに、地域の活性化と振興を図ることを目的とする。</p>														
事業内容・手段	<p>住吉夏まつりの開催（住吉商工振興会との共催事業）</p> <p>今年度は8月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染状況から延期し、12月3日（土）に「まつり住吉2022」として実施した。</p> <p>冬季の開催となり、人出が心配されたが地域の皆さんが大勢集まり盛大なまつりとなった。</p>														
事業費	523,030 円														
対象者	参加者に制限はない														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>2,613名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>13名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	2,613名		スタッフ	13名		合計				
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	2,613名														
スタッフ	13名														
合計															
住民の声（アンケートの結果等）	<p>・寒かったが、三年ぶりに住吉のまつりが開催されて良かった。</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		地域の方が一番集まるイベントで参加しやすい事業である。	広報	事業の周知	A		まつりのポスター、インスタや公式LINE等で周知
	住民の参加	A		毎年夏の開催では帰省者も多く参加している。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		地域の方のニーズに合っている事業である。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A		住吉商工会との連携行事である。			有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> 「住吉夏まつり」は、住吉の夏の風物詩です。住吉商工振興会と協力して、2年間開催できなかった分、地域みなさんが更に楽しめる夏まつりになることを期待しています。 <意見への対応> 開催予定時期がお盆の里帰りの時期と重なることから、住吉の良さを再認識してもらえる良い機会なので、住吉地区の伝統芸能や住吉音頭などをみんなで楽しめる夏まつりを企画したい。				対応	未・済			
	<地域協議会からの意見（令和5年5月・実施報告）> 新型コロナウイルス感染症の状況の影響により12月の開催となりましたが、多くの住民参加があり盛大に開催されました。今後とも、住民参加型イベントの実施によって、地域住民の交流が今まで以上活性化することを期待しております。 <意見への対応> 綱渡りのような事業の実施でしたが、結果は大成功でした。				対応	未・済			

[6] 健康づくりに係る事業

事業名	健康づくり事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“ みんなが元気でお互いを支え合うまち ”</p> <p>誰もが参加できる健康づくりのまち住吉</p> <p>地域住民が気軽に参加できて楽しめるようなイベントとなるよう充実に努めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>すみよし公園内で「リレーマラソン」を行い、みんなとの交流を深める。また、健康の有難さを感じていただく。</p>														
事業内容・手段	<p>楽しくランラン「リレーマラソン」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 11月23日(水) 勤労感謝の日 ・内容 すみよし公園内を周回する。 <p>誰もが自由に思い思いの格好で参加できて、何回でも何mでも走る(歩く)ことを可能としてつないでいく。</p> <p>450メートルの公園内のウォーキングコースをチームでバトンをつなぎ1時間で何周回るかを競った。8チーム約73名が参加した。1位のチームは42周の役19km走った。</p>														
事業費	51,486円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>73人</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>14人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>84人</td> <td>63人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	73人	46人	スタッフ	14人	17人	合計	84人	63人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	73人	46人													
スタッフ	14人	17人													
合計	84人	63人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・部活仲間で参加した。楽しかった。(参加者) ・スポーツクラブのみんなと参加した。親も一緒に走って楽しかった。(参加者) ・今年度で2回目の実施となったが、昨年より参加者が増えて良かった。(スタッフ) 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	年代を超えて参加できるので、ニーズはある	広報	事業の周知	B	B	回覧だけでなく、公式LINEやインスタ等で広く地域の方々に参加していただくための周知方法の工夫が必要。
	住民の参加	B	B	昨年より参加者は増えたが、まだまだ周知方法の工夫は必要			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	誰もが元気で健康なまちづくりを目指す取り組みである。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	B	B	公園を利用するスポーツ団体や公民館を利用者への呼びかけ依頼			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 自治会への回覧だけではなく、公式LINEやインスタで呼びかけたり、各種団体への呼びかけで昨年より多くの参加者があった							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年3月・実施計画）> 多くの方が気軽に参加できるイベントになるように内容を工夫してください。 <意見への対応> 地域の多くの皆さんが気軽に参加できるように、広報の方法や各種団体等への呼びかけを工夫する。				対応	未・済			
	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）> <意見への対応>				対応	未・済			

地域福祉に係る事業

事業名	元気で、笑顔いっぱい事業	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成25年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“ みんなが元気でお互いを支え合うまち ”</p> <p>誰もが参加できる健康づくりのまち住吉</p> <p>地域住民が気軽に参加できて楽しめるようなイベントとなるよう充実に努めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域住民の健康増進やひきこもり防止を目指し、多世代の誰もが楽しく触れ合える場づくりを進める。</p>														
事業内容・手段	<p>1) 各自治会・地区に出向いて運動教室やニュースポーツ、レクリエーションを開催する</p> <p>今年度は14の自治会やサロンからの依頼があり、運動教室を開催した</p> <p>また、ニュースポーツ用具の説明会を8月7日(土)に開催した各自治会で開催する健康運動教室でも利用が増えてきた</p>														
事業費	137,800円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>158人</td> <td>77人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>13人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>171人</td> <td>85人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	158人	77人	スタッフ	13人	8人	合計	171人	85人		
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	158人	77人													
スタッフ	13人	8人													
合計	171人	85人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてニュースポーツ用具の講習会を受けたが、いろいろなスポーツ用具があることが分かった。今度自治会で利用したい。 ・用具の貸出もできると知った。サロンで利用してみたい。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	用具を使ってレクレーション感覚で体を動かすことができるので、ニーズは高まっている	広報	事業の周知	A	B	ブログやインスタ、広報誌でも健康体操教室やニュースポーツ用具について広報している
	住民の参加	B	B	昨年より希望の自治会やサロンが増えて参加者が多くなった			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の皆さんの健康維持のためにもまちづくりの取り組みとして妥当	事業の効果	住民の満足度		A	A
	各種団体との連携	A	A	地区体育会に日程の調整や講師の選定をお願いしている。		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ニュースポーツ用品の講習会を実施して大変良かった。 用具をさらに増やし利用してもらいたい。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> ニュースポーツ用具は、「ふれあいサロン」でも活用できますので、社会福祉協議会とも連携して、周知に努めてください。なお、使用方法がわかる説明書を作成することも効果的だと思います。 <意見への対応> 多くの自治会やサロン等でも利用し易いように、使い方など講習会を計画したい。				対応	未・済			
	<地域協議会からの意見（令和3年5月・事業計画）> 誰もが参加できるよう情報発信に努めると共に、導入したニュースポーツ用具の活用など、創意工夫してください。 <意見への対応> ニュースポーツ用具の利用は一部の自治会のみであった。まちづくりの事業以外で他団体が利用するケースもあった。				対応	未・済			

[7] 地域再生に係る事業

事業名	情報発信事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“ みんなが元気でお互いを支え合うまち ”</p> <p>地域の結びつきや交流を大切にする住吉 地域住民がまちづくりを介して地域の情報を知り地域に愛着を持っていただけるよう地域の魅力を伝えていく。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域活動や身近な生活情報を発信し、地域の活性化や地域づくりに役立てることを目的とする。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) ホームページの更新 新たに Instagram を開設しイベント等の情報を即日発信してきた</p> <p>(2) 地縁団体の活動内容紹介や地域づくりの広報活動の推進 今年度は住吉地区総合文化祭との共催で2つの事業を実施した</p> <p>(3) 地域の魅力を伝えるカレンダーの作成 (5,500部) 今年度は、住吉南小学校3年生が作成した絵画を掲載した1月開始のカレンダーを作成し大変好評だった。</p>														
事業費	566,610 円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>人</td> <td>32人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	人	人	スタッフ	人	32人	合 計	人	32人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	人	32人													
合 計	人	32人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>昨年のA3版のカレンダーに代わり、卓上型で小学生が住吉のお宝を描いたカレンダーで大変良かった。</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	毎年地域のニーズを把握している。	広報	事業の周知	A	B	インスタやブログのQRコードと記載したカードをイベント等で配布した
	住民の参加	B	B	地域の情報を提供してもらうよう自治会にも働きかけている。			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取り組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	情報発信の手段として取り組みとしては妥当である。	事業の必要性	住民の満足度			B
	各種団体との連携	B	B	地域団体の情報等をインスタやブログに掲載することができた			事業継続の必要性	有・無	
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> ブログやInstagramはタイムリーに情報発信ができた。 カレンダーは、卓上型に変更し小学生の描いた絵画を載せて評判が良かった</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> まちづくりの魅力ある活動を発信することで、令和3年度から始まった「地域版ふるさと納税（まちづくり推進委員会の活動に対するふるさと納税）」にも繋がると考えます。「地域版ふるさと納税」は、まちづくり推進委員会の貴重な自主財源となりますので、多くの方に納税していただけるよう、引き続きホームページ等で活動の発信をお願いします。 カレンダーについては、更に使い勝手の良いものになるよう工夫をしてください。 <意見への対応> ホームページは事務局でも編集し易いシステム変更を予定している。「地域版ふるさと納税」も掲載予定。</p>							対応	未・済
	<p><地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）> <意見への対応></p>							対応	未・済

その他の事業

事業名	まちづくり推進事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>“ みんなが地域の宝を大切に守り育てるまち ”</p> <p>地域の人材を生かして育てる住吉</p> <p>地域の様々な人材を活かし、地域活動のためのリーダーになるように育成に努めます。</p>														
目的 (期待される効果)	住民主体のまちづくりを進めるために研修し意識を高める。														
事業内容・手段	<p>(1) まちづくり推進事業に伴う研修を行う。</p> <p>2月25日(土)「SDGs de 地方創生」カードゲーム体験型ワークショップを開催した。</p> <p>まちづくり先進地への視察研修は実施しなかった。</p> <p>(2) まちづくり事業報告会の実施</p> <p>1月21日(土)まちづくり事業報告会と講座「住民で考える地域の防犯減災」を同時に開催した。</p>														
事業費	711,869 円														
対象者	まちづくり推進委員														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>54人</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>10人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>64人</td> <td>49人</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	54人	42人	スタッフ	10人	7人	合 計	64人	49人		
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	54人	42人													
スタッフ	10人	7人													
合 計	64人	49人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsで地方創生を考えたことがなかった ・ルールの理解に時間がかかったが楽しく学べた ・時間が限られていたのでもう少し内容を知りたかった ・子どもも交えると良かった ・今取り組むべきだと再認識した 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	B	今まさに取り組むべきだと認識されている。ニーズが高まっている	広報	事業の周知	A	A	自治会への回覧文書配布や公式LINE等で呼びかけた。
	住民の参加	A		今年度の事業の取り組みも発表することができた。またニーズに合った講座で参加も多かった			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	住民のニーズを把握し、現状に合った研修や講座の企画で妥当性は十分ある	事業の効果	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A		有意義な講座や研修であれば各種団体と連携し共催も考えたい			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 今年度はまちづくりの事業報告ができ、防災講座も同時に開催できた研修は昨年よりレベルを向上させた内容で喜ばれた</p>							
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年3月・事業計画）> まちづくりの魅力ある活動を発信することで、令和3年度から始まった「地域版ふるさと納税（まちづくり推進委員会の活動に対するふるさと納税）」にも繋がると考えます。「地域版ふるさと納税」は、まちづくり推進委員会の貴重な自主財源となりますので、多くの方に納税していただけるよう、引き続きホームページ等で活動の発信をお願いします。 カレンダーについては、更に使い勝手の良いものになるよう工夫をしてください。 <意見への対応> ホームページは事務局でも編集し易いシステム変更を予定している。「地域版ふるさと納税」も掲載予定。</p>				対応	未・済			
	<p><地域協議会からの意見（令和4年5月・実施報告）> <意見への対応></p>				対応	未・済			

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	地域防災訓練事業
-----	----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	35,000	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	35,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	35,000	謝金 35,000
3	旅費	0	
4	需用費	0	炊き出し材料費 各自主防災訓練支援 5回分
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	35,000	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	地域安全見守り隊事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	403,096	
2	繰越金	8,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	411,096	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	111,396	ガソリン代 61,382 お茶(研修会用) 8,640 青パト用 お茶・塩あめ 37,916 消耗品代 3,458
5	役務費	85,860	任意保険料(12ヶ月) 71,510 行事参加者傷害保険料 14,350
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	213,840	青パト車リース料 213,840
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	411,096	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	災害復旧活動支援事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	75,595	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	75,595	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	75,595	炊飯袋 1,000枚 16,390 保存食品 45,925 防災用品 13,280
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	75,595	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	災害時救援物資整備事業
-----	-------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	797,000	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	797,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費		
3	旅費	0	
4	需用費	12,540	ラップ式トイレ消耗品2セット 12,540
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	784,460	組み立てトランク型自動ラップ式トイレ 160,001 " バッテリー 28,600 " ダンビー個室 32,659 ドームテント 231,000 二つ折り担架 101,200 FK救助工具セット 72,600 災害多人数用救急箱 88,000 トランシーバー 70,400
10	積立金	0	
11	合計(B)	797,000	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	子育て支援事業
-----	---------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	12,220	
2	繰越金	50,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	62,220	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	講師謝礼等
3	旅費	0	
4	需用費	62,220	チラシ印刷代 31,130 食材料代 体験コーナー材料代 5,185 かき氷一式 スタッフ昼食・お茶代 ソーメン流し竹切材料代等 参加賞 25,905 (子どもカフェ、ハイハイ競争) 消耗品代
5	役務費	0	傷害保険、振込手数料
6	委託料	0	交通警備(2名)
7	使用料及び賃借料	0	音響装置
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	62,220	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	住吉ささえ愛事業
-----	----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	60,880	
2	繰越金	0	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	60,880	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	60,880	認知症サポート講座 お茶代 6,480 福祉まつりチラシ 45,760 ○高齢者スマホ教室 お茶代 8,640
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	60,880	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	すみよしイルミネーション事業
-----	----------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	204,548	
2	繰越金	40,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	244,548	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	25,000	謝礼 25,000
3	旅費	0	
4	需用費	219,548	LED電球代 162,344 チューブライト 52,725 チラシ作成代 4,479
5	役務費	0	振込手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	244,548	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	高齢者等を支える生活支援事業 NPO法人 住吉つなぎ相愛との共催事業
-----	---------------------------------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	442,379	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	442,379	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	38,090	ガソリン代 18,000 消耗品費・事務用品 20,090
5	役務費	94,089	電話(つなぎコール・依頼受付・調整) 44,329 保険料(車・ボランティア) 49,760
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	310,200	車リース料 190,200 駐車場代 120,000
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	442,379	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

2023/6/14

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	美しい里づくり事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	38,932	
2	繰越金	220,000	
3	補助金		
4	負担金		
5	合計(A)	258,932	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	15,120	○消耗品 草刈り機替刃 ガソリン代 5,400 お茶代 6,480 パン代 3,240
5	役務費	1,812	ボランティア保険(児童等) 1,812
6	委託料	242,000	○招魂山整備事業 北側山道草刈工事 140,000 正面入口山道草刈工事 80,000 消費税 22,000
	使用料及び賃借料	0	
7	原材料費	0	
8	備品購入費	0	
9	積立金	0	
10	合計(B)	258,932	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	花いっぱい事業
-----	---------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	306,420	
2	繰越金	384,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	690,420	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	593,820	花いっぱい運動 コスモス種子代 479,980 播種時元肥料 107,360 土・花苗代 お茶代(スタッフ用) 6,480
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	96,600	トラクターリース代 96,600 * 燃料代を含む
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	690,420	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	米穂夢事業
-----	-------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	18,711	
2	繰越金	140,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	158,711	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	76,400	看護師謝金 農作業謝金 76,400
3	旅費	0	
4	需用費	72,023	苗代 11,000 肥料 11,292 ふるまい食材 ふるまい米代(稲刈り) お茶代(会議用) 8,640 消耗品代 41,091
5	役務費	288	ボランティア保険(児童等) 288 収入証紙
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	10,000	借地料 10,000 収穫祭音響
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	158,711	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	互いに認め合い支え合う社会づくり事業
-----	--------------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	7,475	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	7,475	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	講師謝礼
3	旅費	0	
4	需用費	7,475	案内チラシ作製費 2,795 垂れ幕作成、消耗品代 4,680
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	7,475	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	住吉のたからもの発掘事業
-----	--------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	199,696	
2	繰越金	565,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	764,696	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	講師謝礼
3	旅費	0	
4	需用費	738,746	○住吉小学校 昔の遊びをしよう・芋づくり・住吉地区の元気の秘密を知ろう 消耗品 66,626 住吉南小学校 住吉お宝プロジェクト・日平俵踊り復活プロジェクト・日本遺産PRプロジェクト 消耗品 5,960 俵踊り衣装費 157,465 住吉中学校 住吉未来探究所 消耗品 2,030 ○住吉地区伝統芸能保存会 日平俵踊り・麓奴踊り衣装代 506,665
5	役務費	5,950	5,950
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	20,000	伝統芸能保存会踊り練習会場料 20,000
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	764,696	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

2023/6/14

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	広報誌発行事業
-----	---------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	524,315	
2	繰越金		
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	524,315	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	524,315	広報誌印刷代(6,000部) 6月発行 207,900 3月発行 287,375 チラシ作成費 29,040
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	524,315	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	住吉夏まつり事業
-----	----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	130,030	
2	繰越金	393,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	523,030	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	10,000	司会者謝礼 10,000 出演料
3	旅費	0	
4	需用費	176,210	クリーニング代 @5000×3団体 15,000 弁当代 21,600 お茶代 12,960 トイレトペーパー 半被クリーニング代 ポスター A2 100枚 59,620 まつり受付抽選券 57,200 コーン(コーンウエイト込) アルコール消毒液・体温計他 9,830 シート(8畳用)
5	役務費	0	
6	委託料	39,600	チラシ折り込み料(3か所) 39,600
7	使用料及び賃借料	297,220	舞台(税込) 201,476 音響装置(税込) 95,744
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	523,030	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	健康づくり事業
-----	---------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	18,486	
2	繰越金	33,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	51,486	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	5,000	看護師謝金 5,000
3	旅費	0	
4	需用費	37,003	リレーマラソン 弁当代 12,250 景品代 24,753
5	役務費	9,483	傷害保険 9,483
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	51,486	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	元気で笑顔いっぱい事業
-----	-------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	127,800	
2	繰越金	10,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	137,800	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	42,000	@3,000×14回 42,000
3	旅費	0	
4	需用費	95,800	チラシ用紙代 ○ニュースポーツ用品購入 マグダーツ・スカットボール 95,800
5	役務費	0	イベント保険・送金料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	健康体操会場使用料 2会場
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	137,800	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	情報発信事業
-----	--------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	379,610	
2	繰越金	187,000	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	566,610	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	309,650	チラシ印刷代(文化祭) 57,200 広報活動材料費 カレンダー作成費6,000部 252,450
5	役務費	36,960	回線使用料 36,960
6	委託料	220,000	HPシステム化 220,000
7	使用料及び賃借料	0	
8	原材料費	0	
9	備品購入費	0	
10	積立金	0	
11	合計(B)	566,610	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

令和4年度事業別収支計算書

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり推進事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	科目	金額	備考
1	基礎交付金	205,232	
2	繰越金	506,637	
3	補助金	0	
4	負担金	0	
5	雑収入		
6	合計(A)	711,869	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	0	
2	報償費	30,000	研究視察・講演会講師謝金 30,000
3	旅費	162,000	役員旅費 48,000 会議・研修会旅費 2,000 推進員活動費 112,000
4	需用費	295,353	研修 弁当代 4,860 講演会用横断幕 360 視察 弁当代 お茶代 手土産代 お茶代(会議用) 6,480 消耗品代 事務用品、インク、紙代他 270,453 総会資料製本代 13,200
5	役務費	83,436	傷害保険 切手代 28,738 電話代 54,698
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	貸切バス料金(税込) 会場使用料
8	原材料費	0	
9	備品購入費	141,080	事務用パソコン 141,080
10	積立金	0	0
11	合計(B)	711,869	

収支差額 (A)-(B)	0
--------------	---

(様式第7号)

積立金管理状況報告書

(令和5年3月31日現在)

住吉地域自治区
住吉地域まちづくり推進委員会

積立金名称	災害積立金
-------	-------

積立金の収支

(単位:円)

番号	項目	金額		備考
1	前年度までの積立額	1,014,808	円	
2	取崩額	797,000	円	
3	受取利息	6	円	
4	合計	217,814	円	

令和4年度 特別会計決算書

単位:円

項目	予算額	決算額	増減	摘要
繰越金	1,014,808	1,014,808		
災害時積立金	797,000	797,000		災害時備蓄品購入
雑収入	0	6	6	預金利息
合計	217,808	217,814	6	

積立金残高 217,814円は次年度に繰越

〔監査報告〕

上記、決算書に基づき出納簿、預金通帳及び証拠書類と照合した結果、適正に処理されていることを認める。

令和 5年 4 月 6 日

監事

監事

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和5年 5月29日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市大字島之内7410-1
名 称 住吉地域まちづくり推進委員会
代表者の氏名 会長 片平 達也
電 話 番 号 (0985)39-7004

令和4年3月31日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において1,263,612円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添 付 書 類

令和4年度収支決算書

令和4年度 住吉地域まちづくり推進委員会への意見書（事業実施報告）

住吉地域自治区地域協議会
会長 飯干 るみ子

令和4年度の住吉地域自治区の地域まちづくりについては、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていきましたので承認いたします。

なお、承認に際し下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1. 総括

コロナ禍の中、各事業においても延期や内容の変更を余儀なくされた事業もあったようですが、皆様の知恵と工夫を活かしながら計画に沿った事業が実施できていたと思います。

住吉地域が元気で魅力ある地域であり続けるために、「地域魅力発信プラン」実現に向け事業展開を図ることが求められます。

このため、各部会の意見を踏まえて、一層の事業効果が得られるよう改善や工夫を適切に行うことが、地域の課題解決、住民の参加と連携、未来を担う若者たちの育成などに繋がる重要な要素となります。

今後も住民主体のまちづくりを積極的に推進していくに当たり、住吉地域の将来を見据えて、事業効果が十分に得られるよう事業内容をしっかり構築していただきたいと思います。

2. 事業の推進体制

今後の活動において、地域各種団体と適切に連携を図るとともに、各部会で活発な意見交換を行なうなど、事業の目的達成に向けて効率的な実施に務めてください。

また、若い世代を含む地域住民が事業への参画が一層促進されるよう、引き続き、より効果的な情報の発信に努めていただきたいと思います。

3. 各事業への意見

事業名	意見
地域防災訓練事業	<p>地域の防災・減災の意識向上に向け、地域団体と連携した地域防災ネットワーク作りに繋がる事を期待します。</p> <p>また、地域住民が参加できる体制の構築や、周知活動の充実もお願いします。</p> <p>併せて、保有している資機材の操作方法や利活用方法の普及活動にも努めてください。</p>
米穂夢事業	<p>食育事業として食文化を考察できる事業内容となっています。</p> <p>子ども達が稲作過程を体験できるなど、事業内容の更なる充実をお願いします。</p>
住吉夏まつり事業	<p>新型コロナウイルス感染症の状況の影響により12月の開催となりましたが、多くの住民参加があり盛大に開催されました。</p> <p>今後とも、住民参加型イベントの実施によって、地域住民の交流が今まで以上活性化することを期待しております。</p>